

前立腺癌に対するロボット補助下前立腺全摘出後、生化学的再発に寄与する危険因子と、  
救済療法の治療効果に関する検討へのご協力をお願い

#### 1. 研究の対象

2019年2月以降に当院において、前立腺癌に対してロボット補助下前立腺全摘出術を施行した症例を対象とします。

#### 2. 研究目的

前立腺全摘出術後の生化学再発は、一定の頻度で生じ、救済放射線照射やホルモン療法などの治療選択肢があります。前立腺全摘出後の生化学的再発が、どのような患者に生じるのか、また生化学的再発に対してどのような治療の効果が高いのかに関しては、いまだに未解明です。当院における症例の解析や治療成績を検討して、今後の臨床に生かしていきます。

研究期間:承認日～2025年12月31日

#### 3. 研究に用いる資料・情報の種類

手術前後のPSAなど血液検査所見、CT・MRIなどの画像検査結果、前立腺全摘出の病理組織学所見、合併症、治療経過、等。カルテの記載内容ならびにデータから情報を収集します。

なお、この研究は学会あるいは論文として発表される予定があります。研究については当院倫理審査委員会の承認を得ています。

#### 4. 個人情報の取扱いについて

患者さんの病理組織、測定結果、カルテ情報をこの研究に使用する際は、氏名・生年月日などの患者さんを直ちに特定できる情報は削除し、研究用の番号を付けて取り扱います。患者さんが特定できる情報を使用することはありません。なお、この研究で得られた情報は研究責任者と分担研究者の責任の下、厳重な管理を行い、患者さんの情報などが漏洩しないよう、プライバシーの保護には細心の注意を払います。

#### 5. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。  
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書および関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方に、ご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

紹介先および研究への利用を拒否する場合の連絡先:

京都第一赤十字病院 泌尿器科

太田 雄基 075-561-1121 (代)